

■答申

日高委員長から加藤教育長へ、上山市みらいの学校構想（答申）を手交

■懇談（各委員からの感想等）

- (1) 1年半の検討は長かったが、前向きな構想・答申にまとまって良かった。自信をもって市民・議会に説明して欲しい。スピード感のある対応を期待する。
- (2) PTAの経験から、小さい学校は、ここ数年の保護者の不安が大きい。率直な声を検討委員会で共有・反映できたと思う。
- (3) 時代や様々なニーズを捉えた今回の構想ならば期待の声も大きいと思う。
- (4) 構想を実現し、子ども達に明るい未来の上山を提供できるように頑張ってもらいたい。
- (5) 部活動の地域移行の動きをみると、子ども達は、大人が思うより変化に順応できる。大人が変化、変わることを恐れず、構想に盛り込んだように対応していければ良いと思う。
- (6) アンケートや説明会のまとめを見て、保護者の切実な思いを知ることができた検討期間だったと思う。子どもにとって良い新たな学校を早く見たいと思いました。
- (7) これから上山市内の小中学校が、どのようにまとまっていくのか、魅力ある学校として早く実現できるよう期待するとともに、今後の取組を応援しております。
- (8) 構想に委員の意見を盛り込めたと思う。子ども・保護者のため構想の実現を願います。
- (9) 人口減少・今後の産業面など、まち全体との関わりを考えるきっかけになる構想にまとまったと思う。
- (10) 上山の子ども達がすくすくと育つことが大事で、構想の大前提となること。これを守るためにも時代の変化に合わせて、変わり続けることの意義を大事にしたい。
- (11) 時代の変化、統合に伴う変化を恐れず、子ども達に良い環境の学校を整えてくださることを願っている。今後とも応援団としてこの取組の経過を見守っていく。

■閉会